



ITA_利用手順マニュアル

ホストグループ機能

—第1.9版—

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複製することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

- ・ LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Red Hatは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Apache、Apache Tomcat、Tomcatは、Apache Software Foundationの登録商標または商標です。
- ・ Ansibleは、Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、TMマークは本書に明記しておりません。

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

目次

目次.....	2
はじめに	3
1 ホストグループの概要と利点	4
1.1 ホストグループの概要	4
1.2 ホストグループの利点	5
1.2.1 ホストグループ間のパラメータの継承	5
2 ホストグループ機能の主要機能	8
3 ホストグループ機能のメニューグループ	9
3.1 メニューグループ「ホストグループ管理コンソール」について	9
4 ホスト単位に情報を設定	10
4.1 パラメータシート作成	13
4.2 ホストグループの登録	13
4.3 ホストグループ親子関係の定義	14
4.4 ホストグループとオペレーションと作業対象ホストの紐付け	15
4.5 パラメータシートメニューへの登録	19
4.6 ホスト化	20
4.7 オペレーションと作業対象ホストごとの項目の設定値を紐付け	22
4.8 オペレーションに紐付く作業対象ホストの反映	22
4.9 代入値の反映	22
5 運用操作	23
5.1 メンテナンス	23
5.2 ログレベルの変更	24

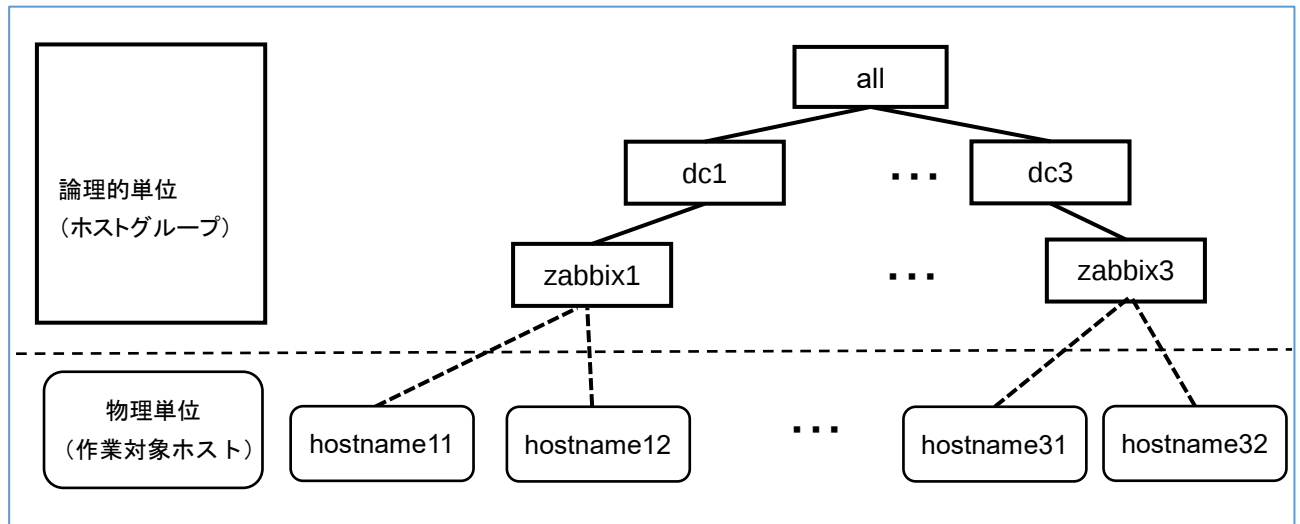
はじめに

本書では、ITA ホストグループ機能（以降、ホストグループと略）システムの機能および操作方法について説明します。

1 ホストグループの概要と利点

1.1 ホストグループの概要

ホストグループとは、ホスト群を論理的な単位（機能・役割）でまとめたグループのことを指します。ホストグループの概念図は下のようになります。



上図は、以下の要素で構成されています。

■ホストグループ

図中の単線枠の四角形で記載。all、dc1、dc3、zabbix1、zabbix3 が該当。

■作業対象ホスト

物理機器を示すホスト。

図中の丸角の四角形で記載。hostname11、hostname12、hostname31、hostname32 が該当。

上位のホストグループを親ホストグループ、下位のホストグループを子ホストグループと呼び、それらは親子関係にあります。更に下位となる末端のホストグループは作業対象ホストと紐付きます。上図の例では、dc1 から見た子ホストグループは zabbix1 となり、zabbix1 から見た親ホストグループは dc1 となります。

階層の数はホストグループ 1 つで 1 階層、1 組の親子で 2 階層となり、頂点となるホストグループから末端のホストグループまでは最大 15 階層まで定義できます。

上図の例では、all から zabbix1 まで辿ると 3 階層となります。

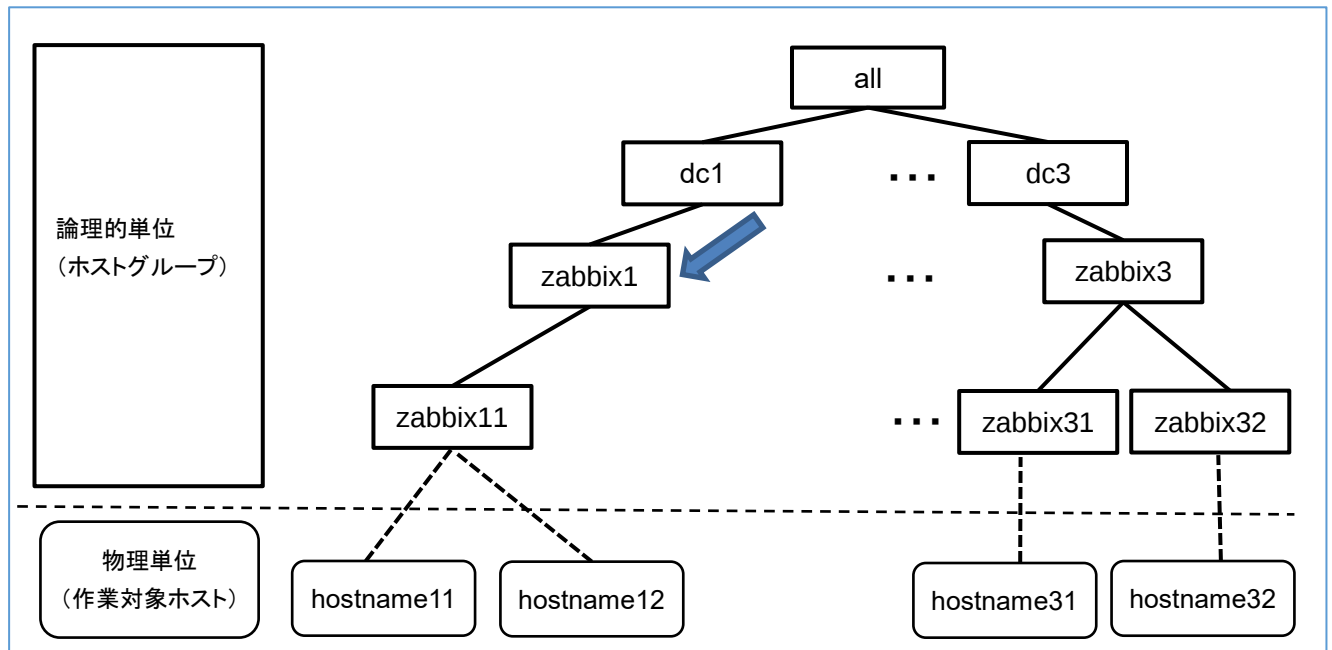
1.2 ホストグループの利点

1.2.1 ホストグループ間のパラメータの継承

親ホストグループに設定したパラメータは子ホストグループに継承されます。

下図の例では、dc1 に設定したパラメータ(例えばユーザのパスワードなど)が zabbix1 にも同じパラメータの設定が継承されます。

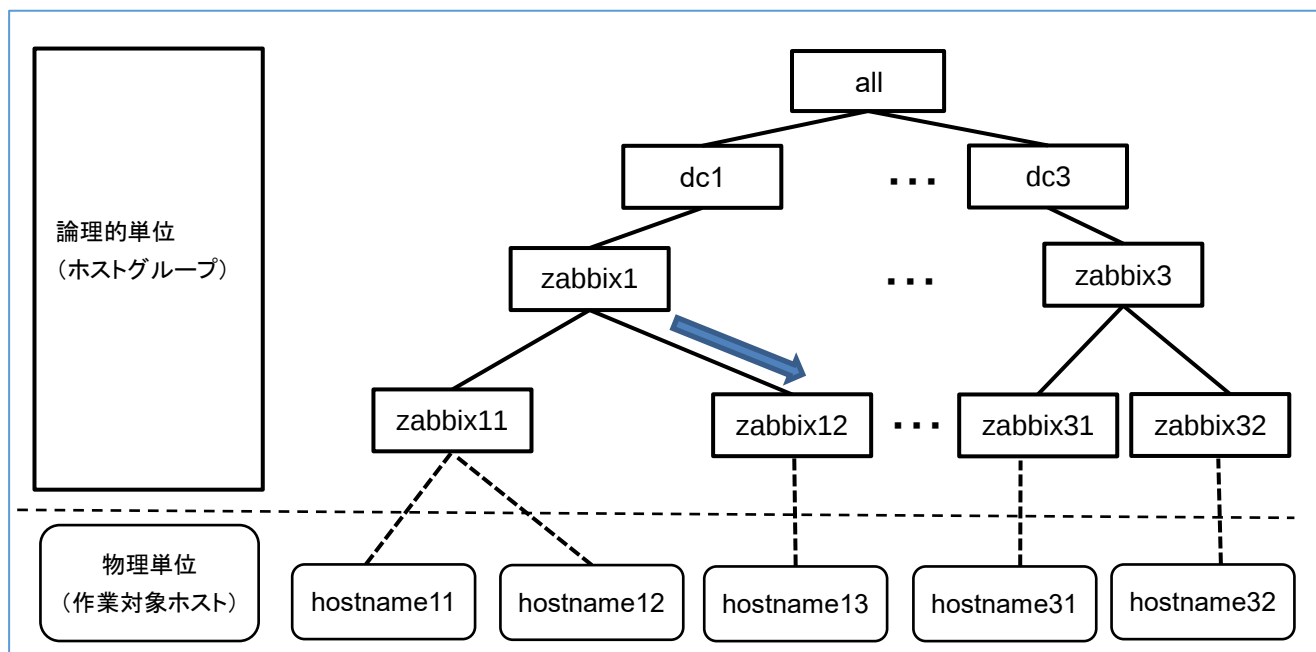
ただし、具体値がない場合は継承されません。



このように設定箇所を局所化することで、設定の付与/変更作業の簡略化ができます。

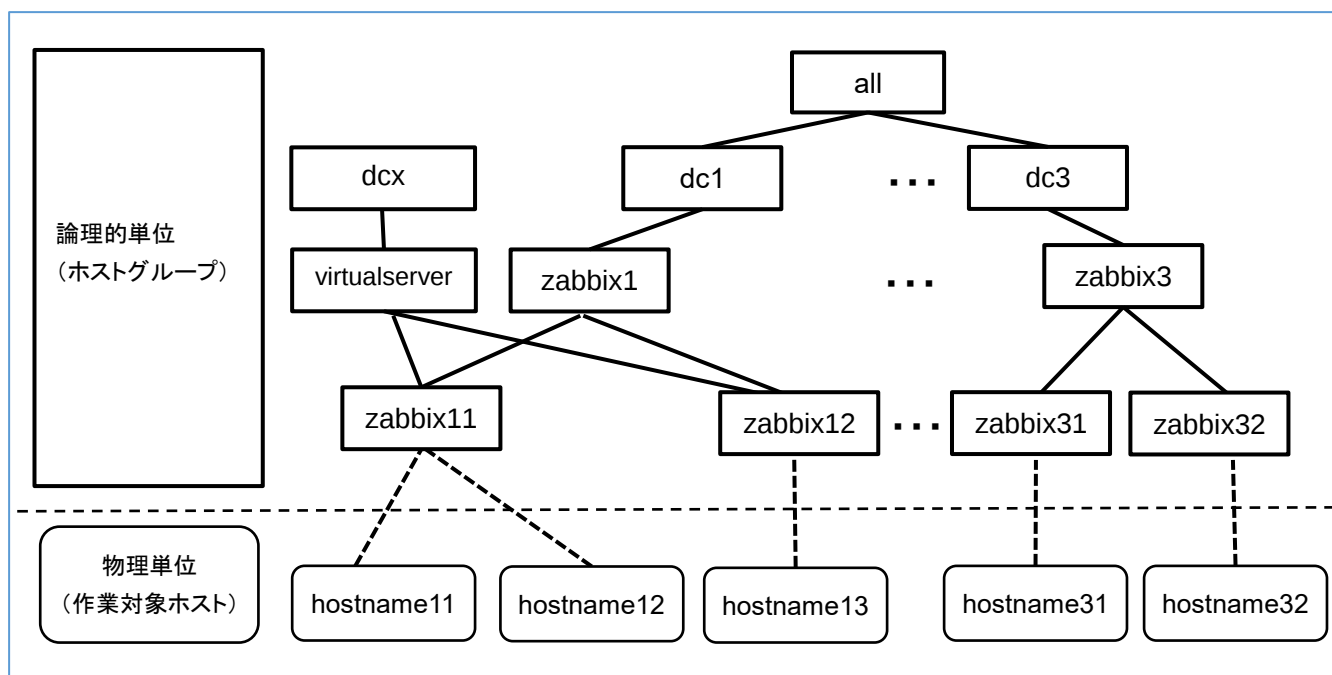
子ホストグループを追加した場合にもパラメータの設定は自動で継承されます。

下図の例では、zabbix サーバを 1 台追加した際に、zabbix12 を zabbix1 に紐付けています。これにより、zabbix12 には、zabbix11 と同じように、zabbix1 の設定が継承されます。



子ホストグループは複数の親ホストグループに紐付けることができ、親ホストグループが複数ある場合のパラメータの継承について説明します。

下図の例では、zabbix11、zabbix12 は zabbix1 と virtualserver に属しています。



ホストグループ間でパラメータが重複していた場合は最も下位のホストグループから適用されます。上図の例では、dcx と zabbix1 に同じパラメータを設定していた場合に、zabbix11、zabbix12 に継承されるのは dcx からではなく、下位の zabbix1 のパラメータとなります。

同じ階層でパラメータが重複していた場合は優先順位が高い親ホストグループから継承されます。
上図の例では virtualserver と zabbix1 に同じパラメータを設定していた場合に virtualserver の優先順位が 1 で、zabbix1 の優先順位が 2 であれば、zabbix1 の優先順位が大きいいため、子ホストグループに継承されるのは zabbix1 のパラメータとなります。
優先順位の設定方法は「[4.2 ホストグループの登録](#)」で説明します。

2 ホストグループ機能の主要機能

ホストグループ機能の主要機能は次のカテゴリーに分類されます。

- ① Web
Web コンテンツ。ブラウザで提供されるホストグループ機能を使用できる画面。
- ② BackYard
Web コンテンツとは独立してサーバ上で動作する常駐プロセス。

3 ホストグループ機能のメニューグループ

ホストグループ機能のメニューグループと、それに所属するメニューは以下となります。

メニューグループ	所属するメニュー	段落	説明
ホストグループ管理 コンソール	ホストグループ一覧	4.2	ホストグループの登録
	ホストグループ親子紐付	4.3	ホストグループ親子関係の定義
	ホスト紐付管理	4.4	ホストグループとオペレーションと作業対象ホストの紐付け

3.1 メニューグループ「ホストグループ管理コンソール」について

ホストグループ一覧、ホストグループ親子紐付、ホスト紐付管理は、ホストグループを登録し、どのオペレーションでどのホストを作業対象とするかを定義するために必要なメニューとなります。
操作の詳細は「[4 ホスト単位に情報を設定](#)」で説明します。

4 ホスト単位に情報を設定

Web コンテンツを使用して、ホストグループを登録しホスト単位に情報を設定する作業のフローは以下表のようになります。

作業の詳細は各段落で説明します。

段落	作業内容	ユーザ操作	使用するメニューグループ	使用するメニュー	備考
4.1	<u>パラメータシート作成</u>	あり	パラメータシート作成	メニュー作成情報 メニュー項目作成情報 メニュー作成実行 メニュー作成管理	—
4.2	<u>ホストグループの登録</u>	あり	ホストグループ管理	ホストグループ一覧	—
4.3	ホストグループ親子関係の定義	あり	ホストグループ管理	ホストグループ親子紐付	—
4.4	<u>ホストグループとオペレーションと作業対象ホストの紐付け</u>	あり	ホストグループ管理	ホスト紐付管理	—
4.5	<u>パラメータシートメニューへの登録</u>	あり	※2	「4.1 パラメータシート作成」で作成したメニュー	—
4.6	<u>ホスト化</u>	なし ※1	※2	「4.1 パラメータシート作成」で作成したメニュー	手動での登録/更新不可。
4.7	<u>オペレーションと作業対象ホストごとの項目の設定値を紐付け</u>	あり	※2	代入値自動登録設定	代入値自動登録設定については「 パラメータ管理メニューガイド 」を参照。
4.8	<u>オペレーションに紐付く作業対象ホストの反映</u>	なし ※1	※3	作業対象ホスト	代入値自動登録設定については「 パラメータ管理メニューガイド 」を参照。
4.9	<u>代入値の反映</u>	なし ※1	※3	代入値管理	代入値自動登録設定については「 パラメータ管理メニューガイド 」を参照。

※1

内部の処理で実行するのでユーザ操作は不要。
処理結果はメニュー画面で確認可能。

※2

「4.1 パラメータシート作成」で作成先に指定したメニューグループ。

※3

代入値自動登録設定が行えるメニューグループ。

各作業により、レコードのイメージは以下表のようになります。

段落	作業内容	レコードのイメージ																																	
4.2	ホストグループの登録	<table><tr><th>ホストグループ</th></tr><tr><td>HG_1</td></tr><tr><td>HG_2</td></tr><tr><td>hg_1a</td></tr><tr><td>hg_1b</td></tr><tr><td>hg_2a</td></tr><tr><td>hg_2b</td></tr></table>	ホストグループ	HG_1	HG_2	hg_1a	hg_1b	hg_2a	hg_2b																										
ホストグループ																																			
HG_1																																			
HG_2																																			
hg_1a																																			
hg_1b																																			
hg_2a																																			
hg_2b																																			
4.3	ホストグループ親子関係の定義	<table><tr><th>親ホストグループ</th><th>子ホストグループ</th></tr><tr><td>HG_1</td><td>hg_1a</td></tr><tr><td>HG_1</td><td>hg_1b</td></tr><tr><td>HG_2</td><td>hg_2a</td></tr><tr><td>HG_2</td><td>hg_2b</td></tr></table>	親ホストグループ	子ホストグループ	HG_1	hg_1a	HG_1	hg_1b	HG_2	hg_2a	HG_2	hg_2b																							
親ホストグループ	子ホストグループ																																		
HG_1	hg_1a																																		
HG_1	hg_1b																																		
HG_2	hg_2a																																		
HG_2	hg_2b																																		
4.4	ホストグループとオペレーションと作業対象ホストの紐付け	<table><tr><th>ホストグループ</th><th>オペレーション</th><th>作業対象ホスト</th></tr><tr><td>hg_1a</td><td>2017/10/31_1001_OP1</td><td>host_1a</td></tr><tr><td>hg_1b</td><td>2017/10/31_1001_OP1</td><td>host_1b</td></tr><tr><td>hg_2a</td><td>2017/10/31_1001_OP1</td><td>host_2a</td></tr><tr><td>hg_2b</td><td>2017/10/31_1001_OP1</td><td>host_2b</td></tr></table>	ホストグループ	オペレーション	作業対象ホスト	hg_1a	2017/10/31_1001_OP1	host_1a	hg_1b	2017/10/31_1001_OP1	host_1b	hg_2a	2017/10/31_1001_OP1	host_2a	hg_2b	2017/10/31_1001_OP1	host_2b																		
ホストグループ	オペレーション	作業対象ホスト																																	
hg_1a	2017/10/31_1001_OP1	host_1a																																	
hg_1b	2017/10/31_1001_OP1	host_1b																																	
hg_2a	2017/10/31_1001_OP1	host_2a																																	
hg_2b	2017/10/31_1001_OP1	host_2b																																	
4.5	パラメータシートメニューへの登録	<table><tr><th>作業対象ホスト or ホストグループ</th><th>オペレーション</th><th>項目 1</th><th>項目 2</th></tr><tr><td>HG_1</td><td>2017/10/31_1001_OP1</td><td>111</td><td>AAA</td></tr><tr><td>HG_2</td><td>2017/10/31_1001_OP1</td><td>—</td><td>BBB</td></tr></table>	作業対象ホスト or ホストグループ	オペレーション	項目 1	項目 2	HG_1	2017/10/31_1001_OP1	111	AAA	HG_2	2017/10/31_1001_OP1	—	BBB																					
作業対象ホスト or ホストグループ	オペレーション	項目 1	項目 2																																
HG_1	2017/10/31_1001_OP1	111	AAA																																
HG_2	2017/10/31_1001_OP1	—	BBB																																
4.6	ホスト化	<table><tr><th rowspan="2">作業対象 ホスト</th><th colspan="3">オペレーション</th><th rowspan="2">項目 1</th><th rowspan="2">項目 2</th></tr><tr><th>実施予定日</th><th>ID</th><th>オペレーション名</th></tr><tr><td>host_1a</td><td>2017/10/31</td><td>1001</td><td>OP1</td><td>111</td><td>AAA</td></tr><tr><td>host_1b</td><td>2017/10/31</td><td>1001</td><td>OP1</td><td>111</td><td>AAA</td></tr><tr><td>host_2a</td><td>2017/10/31</td><td>1001</td><td>OP1</td><td>—</td><td>BBB</td></tr><tr><td>host_2b</td><td>2017/10/31</td><td>1001</td><td>OP1</td><td>—</td><td>BBB</td></tr></table>	作業対象 ホスト	オペレーション			項目 1	項目 2	実施予定日	ID	オペレーション名	host_1a	2017/10/31	1001	OP1	111	AAA	host_1b	2017/10/31	1001	OP1	111	AAA	host_2a	2017/10/31	1001	OP1	—	BBB	host_2b	2017/10/31	1001	OP1	—	BBB
作業対象 ホスト	オペレーション			項目 1	項目 2																														
	実施予定日	ID	オペレーション名																																
host_1a	2017/10/31	1001	OP1	111	AAA																														
host_1b	2017/10/31	1001	OP1	111	AAA																														
host_2a	2017/10/31	1001	OP1	—	BBB																														
host_2b	2017/10/31	1001	OP1	—	BBB																														
4.7	オペレーションと作業対象ホストごとの項目の設定値を紐付け	<table><tr><th>メニューグループ名:メニュー名</th><th>項目</th><th>Movement</th><th>変数名</th></tr><tr><td>パラメータ管理(ホスト化): 作成したメニュー名</td><td>項目 1</td><td>Movement1</td><td>VAR_変数 1</td></tr><tr><td>パラメータ管理(ホスト化): 作成したメニュー名</td><td>項目 2</td><td>Movement2</td><td>VAR_変数 2</td></tr></table>	メニューグループ名:メニュー名	項目	Movement	変数名	パラメータ管理(ホスト化): 作成したメニュー名	項目 1	Movement1	VAR_変数 1	パラメータ管理(ホスト化): 作成したメニュー名	項目 2	Movement2	VAR_変数 2																					
メニューグループ名:メニュー名	項目	Movement	変数名																																
パラメータ管理(ホスト化): 作成したメニュー名	項目 1	Movement1	VAR_変数 1																																
パラメータ管理(ホスト化): 作成したメニュー名	項目 2	Movement2	VAR_変数 2																																

段落	作業内容	レコードのイメージ																																							
4.8	<u>オペレーションに紐付く作業対象ホストの反映</u>	<table><tr><th>オペレーション</th><th>Movement</th><th>作業対象ホスト</th></tr><tr><td>1001_OP1</td><td>Movement1</td><td>host_1a</td></tr><tr><td>1001_OP1</td><td>Movement1</td><td>host_1b</td></tr><tr><td>1001_OP1</td><td>Movement2</td><td>host_1a</td></tr><tr><td>1001_OP1</td><td>Movement2</td><td>host_1b</td></tr><tr><td>1001_OP1</td><td>Movement2</td><td>host_2a</td></tr><tr><td>1001_OP1</td><td>Movement2</td><td>host_2b</td></tr></table>					オペレーション	Movement	作業対象ホスト	1001_OP1	Movement1	host_1a	1001_OP1	Movement1	host_1b	1001_OP1	Movement2	host_1a	1001_OP1	Movement2	host_1b	1001_OP1	Movement2	host_2a	1001_OP1	Movement2	host_2b														
オペレーション	Movement	作業対象ホスト																																							
1001_OP1	Movement1	host_1a																																							
1001_OP1	Movement1	host_1b																																							
1001_OP1	Movement2	host_1a																																							
1001_OP1	Movement2	host_1b																																							
1001_OP1	Movement2	host_2a																																							
1001_OP1	Movement2	host_2b																																							
4.9	<u>代入値の反映</u>	<table><tr><th>オペレーション</th><th>Movement</th><th>作業対象ホスト</th><th>変数名</th><th>具体値</th></tr><tr><td>1001_OP1</td><td>Movement1</td><td>host_1a</td><td>VAR_変数 1</td><td>111</td></tr><tr><td>1001_OP1</td><td>Movement1</td><td>host_1b</td><td>VAR_変数 1</td><td>111</td></tr><tr><td>1001_OP1</td><td>Movement2</td><td>host_1a</td><td>VAR_変数 2</td><td>AAA</td></tr><tr><td>1001_OP1</td><td>Movement2</td><td>host_1b</td><td>VAR_変数 2</td><td>AAA</td></tr><tr><td>1001_OP1</td><td>Movement2</td><td>host_2a</td><td>VAR_変数 2</td><td>BBB</td></tr><tr><td>1001_OP1</td><td>Movement2</td><td>host_2b</td><td>VAR_変数 2</td><td>BBB</td></tr></table>					オペレーション	Movement	作業対象ホスト	変数名	具体値	1001_OP1	Movement1	host_1a	VAR_変数 1	111	1001_OP1	Movement1	host_1b	VAR_変数 1	111	1001_OP1	Movement2	host_1a	VAR_変数 2	AAA	1001_OP1	Movement2	host_1b	VAR_変数 2	AAA	1001_OP1	Movement2	host_2a	VAR_変数 2	BBB	1001_OP1	Movement2	host_2b	VAR_変数 2	BBB
オペレーション	Movement	作業対象ホスト	変数名	具体値																																					
1001_OP1	Movement1	host_1a	VAR_変数 1	111																																					
1001_OP1	Movement1	host_1b	VAR_変数 1	111																																					
1001_OP1	Movement2	host_1a	VAR_変数 2	AAA																																					
1001_OP1	Movement2	host_1b	VAR_変数 2	AAA																																					
1001_OP1	Movement2	host_2a	VAR_変数 2	BBB																																					
1001_OP1	Movement2	host_2b	VAR_変数 2	BBB																																					

4.1 パラメータシート作成

パラメータシート作成機能を利用してパラメータシートメニューを作成します。
パラメータシート作成機能の詳細については「利用手順マニュアル_パラメータシート作成機能」を参照してください。

4.2 ホストグループの登録

ホストグループ一覧メニューを使用してホストグループを登録します。

Exastro IT Automation ホストグループ管理

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]

ロール パスワード変更 ログアウト

Menu

メインメニュー

ホストグループ一覧

ホストグループ親子紐付

ホスト紐付管理

ホストグループ分割対象

ホストグループ変数化

ホストグループ変数紐付 (Ansible-Legacy)

ホストグループ変数紐付 (Ansible-LegacyRole)

説明

表示フィルタ

廃止 廃止含まず

ホストグループID

ホストグループ名

優先順位(大きい方が強い)

備考

最終更新日時

最終更新者

フィルタ フィルタクリア

一括/更新

登録

ホストグループID

ホストグループ名*

優先順位(大きい方が強い)*

備考

最終更新日時

最終更新者

自動入力

※*は必須項目です。

戻る 登録

管理者に連絡

カラム名	説明
ホストグループ名	ホストグループの名称を入力します。
優先順位	優先順位を入力します。 入力範囲は 1～2,147,483,647 です。

4.3 ホストグループ親子関係の定義

ホストグループ親子紐付メニューを使用してホストグループの親子関係を定義します。

カラム名	説明	
ホストグループ	親	親となるホストグループ名を選択します。
	子	親ホストグループに紐付く子ホストグループ名を選択します。

親子関係がループしているホストグループがあれば、表示フィルタの表示結果のループアラーム欄に「●」が表示されます。

下記の例では、zabbix1(親)と zabbix11(子)の親子関係が既に定義されているにも関わらず、更に zabbix11(親)と zabbix1(子)という逆の親子関係を定義しており、親子関係がループとなっています。ループがある場合は後述する内部の処理「ホストグループ分解機能」が動作しないため、ループが発生しないように注意してください。

一覧/更新									
履歴	複製	更新	廃止	項番	ループアラーム	ホストグループ		アクセス権	備考
						親	子	アクセス許可ロール	
履歴	複製	更新	廃止	1	●	host_group_TEST1	host_group_aaa		2021/07/05 23:30:05 データポートビリティプロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	2	●	host_group_aaa	host_group_TEST1		2021/07/16 08:54:05 システム管理書
履歴	複製	更新	廃止	3		host_group_TEST2	host_group_ccc		2021/07/05 23:30:29 データポートビリティプロシージャ
履歴	複製	更新	廃止	4		host_group_TEST2	host_group_ddd		2021/07/05 23:30:39 データポートビリティプロシージャ

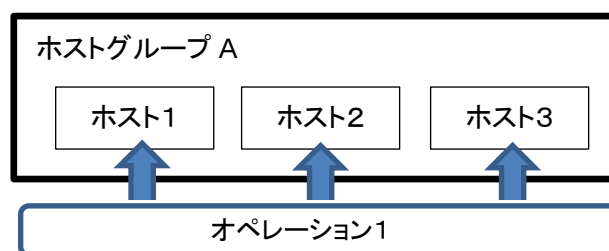
4. 4 ホストグループとオペレーションと作業対象ホストの紐付け

ホスト紐付管理メニューを使用してホストグループとオペレーションに紐付く作業対象ホストを登録します。

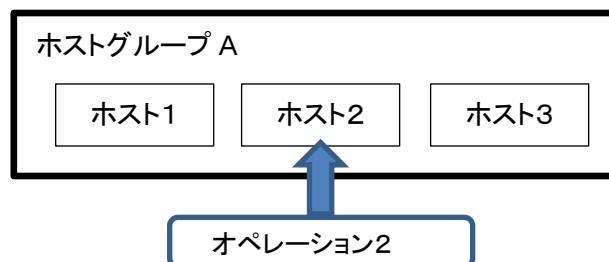
カラム名	説明
ホストグループ名	ホストグループを選択します。
オペレーション	オペレーションを選択します。※1
ホスト名	作業対象ホストを選択します。

ホストグループとオペレーションと作業対象ホストを紐付けることで、下図のように、ホストグループ内で作業対象ホストの選択操作が可能となります。

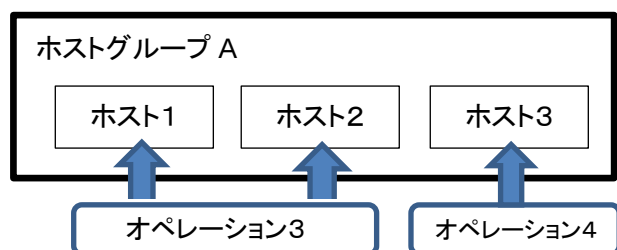
例1
ホストグループに所属する全てのホ
ストを作業対象ホストとしたい場合



例2
一部のホストを作業対象ホストとした
い場合



例3
例2のパターンの組み合わせ



※1
ホスト紐付管理メニューでは、オペレーションは NULL 登録も可能です。NULL 登録した場合は、すべてのオペレーションで紐付が有効になります。

Exastro

IT Automation

ホストグループ管理

ようこそ[システム管理者]さん

ログインID [administrator]

ロール

パスワード変更

ログアウト

Menu

メインメニュー

ホストグループ一覧

ホストグループ親子紐付

ホスト紐付管理

説明

表示フィルタ

廃止

項番

ホストグループ名

オペレーション

ホスト名

最終更新日時

最終更新者

廃止含まず

~

ブルダウン検索

ブルダウン検索

ブルダウン検索

ブルダウン検索

ブルダウン検索

フィルタ

フィルタクリア

☒ オートフィルタ

一覧/更新

登録

項番

ホストグループ名

オペレーション

ホスト名

アクセス権

最終更新日時

最終更新者

自動入力

設定

自動入力

自動入力

※*は必須項目です。

戻る

登録

全件ダウンロードとファイルアップロード編集

変更履歴

管理者に連絡

Exastro

IT Automation

ホストグループ管理

ようこそ[システム管理者]さん

ログインID [administrator]

ロール

パスワード変更

ログアウト

Menu

メインメニュー

ホストグループ一覧

ホストグループ親子紐付

ホスト紐付管理

ホストグループ分類対象

説明

表示フィルタ

廃止

項番

ホストグループ名

オペレーション

ホスト名

アクセス権

備考

最終更新日時

最終更新者

廃止含まず

~

ブルダウン検索

ブルダウン検索

ブルダウン検索

ブルダウン検索

ブルダウン検索

フィルタ

フィルタクリア

☒ オートフィルタ

一覧/更新

登録

状態

更新

廃止

項番

ホストグループ名

オペレーション

ホスト名

アクセス権

備考

最終更新日時

最終更新者

新規

更新

廃止

1

host_group_TEST1

2021/07/05 23:30:31

OPERATOR01

exastro-208-automation

2021/07/05 23:31:02

データポートビルディプロシージャ

新規

更新

廃止

2

host_group_TEST2

2021/07/31 23:30:20

OPERATOR02

WIN-RCKYQILH576

2021/07/05 23:31:16

データポートビルディプロシージャ

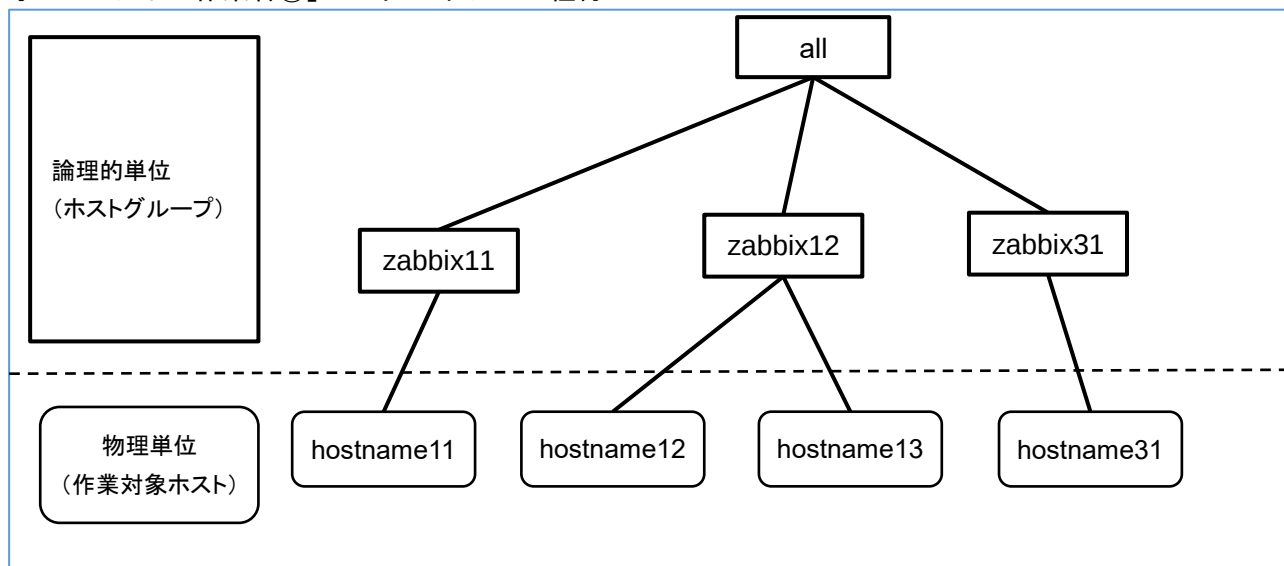
フィルタ検索件数: 2

管理者に連絡

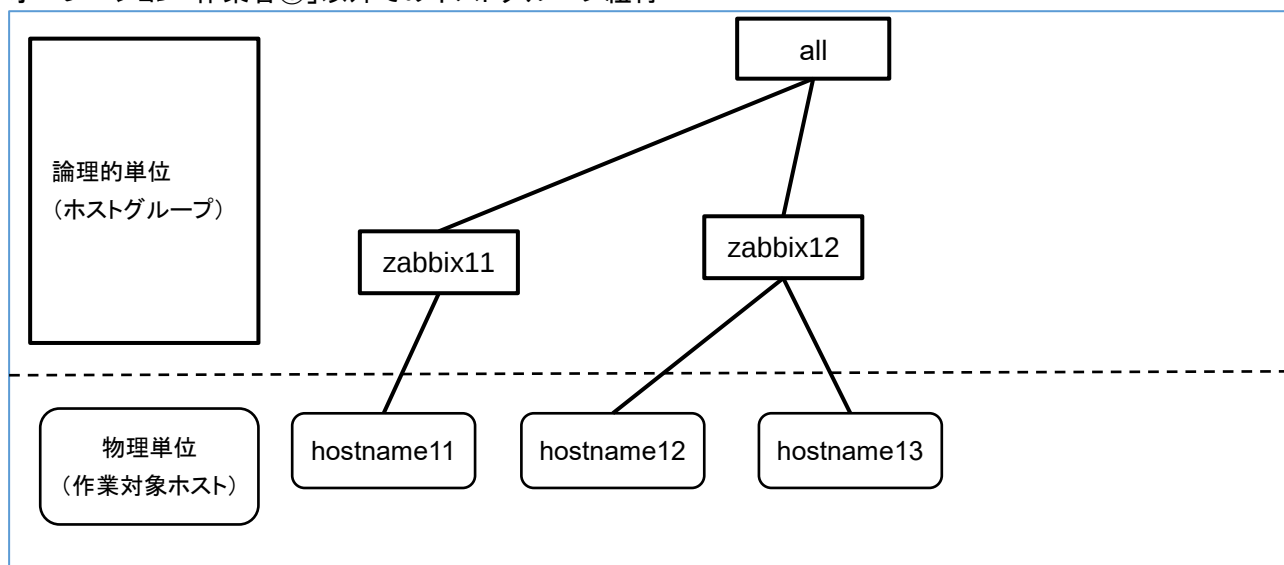
上記の例ではオペレーションを NULL 登録したホストグループ zabbix1、zabbix2 の紐付はすべてのオペレーションで有効になります。

一方、オペレーション登録したホストグループ zabbix3 は、登録したオペレーション「作業①」でのみ有効となります。

オペレーション「作業①」でのホストグループ紐付



オペレーション「作業①」以外でのホストグループ紐付



4.5 パラメータシートメニューへの登録

「4.1 パラメータシート作成」で作成したホストグループ用のパラメータシートメニューで、作業対象ホストまたはホストグループがもつ項目に、オペレーションごとの具体値を登録します。登録後は参照/更新/廃止/復活が可能です。

カラム名	説明
ホスト名/ホストグループ名	作業対象ホストまたはホストグループを選択します。 接頭辞[H]が作業対象ホスト、[HG]がホストグループです。
オペレーション	オペレーションを選択します。
項目名 (「4.1 パラメータシート作成」 で定義した項目名)	項目の具体値を入力します。 入力した具体値は、「4.9 代入値の反映」でオペレーションと Movement および作業対象ホストに紐付く変数の具体値として反映されます。

「ホスト名/ホストグループ」と「オペレーション」の組み合わせは一意で登録します。
同じホストでも異なるオペレーションと組み合わせれば登録が可能です。

4.6 ホスト化

「4.5 パラメータシートメニューへの登録」で登録した情報は、内部の処理「ホストグループ分解機能」により、オペレーション毎にまとめ、更にホストグループの紐付けに従い作業対象ホスト単位まで継承が行われます。

作業対象ホスト単位に継承された情報は、「4.1 パラメータシート作成」で作成したホスト用のパラメータシートメニューで参照することができます。

参照のみ可能で、登録/更新/廃止/復活は不可です。

ホスト化の流れの例を以下で説明します。

(1) パラメータシートメニューへ登録した項目は以下とします。

(「4.5 パラメータシートメニューへの登録」で登録する情報)

作業対象ホスト or ホストグループ	オペレーション	項目 1	項目 2
HG_1	2017/10/31_1001_OP1	111	AAA
HG_2	2017/10/31_1001_OP1	—	BBB
host_1a	2017/10/31_1001_OP1	222	—

(2) ホストグループの親子関係は以下とします。

(「4.3 ホストグループ親子関係の定義」で登録する情報)

親ホストグループ	子ホストグループ
HG_1	hg_1a
HG_1	hg_1b
HG_2	hg_2a
HG_2	hg_2b

(3) ホストグループ、オペレーション、作業対象ホストの紐付情報は以下とします。

(「 4.4 ホストグループとオペレーションと作業対象ホストの紐付け」で登録する情報)

ホストグループ	オペレーション	作業対象ホスト
hg_1a	2017/10/31_1001_OP1	host_1a
hg_1b	2017/10/31_1001_OP1	host_1b
hg_2a	2017/10/31_1001_OP1	host_2a
hg_2b	2017/10/31_1001_OP1	host_2b

(4) (1)～(3)に情報が登録されている状態でホスト化が行われると、レコードは以下の内容となり、ホストグループに所属している作業対象ホスト単位に情報が設定されていることがわかります。

作業対象ホスト	オペレーション			項目 1	項目 2
	実施予定日	ID	オペレーション名		
host_1a	2017/10/31	1001	OP1	222 (※1)	AAA (※2)
host_1b	2017/10/31	1001	OP1	111	AAA
host_2a	2017/10/31	1001	OP1	— (※3)	BBB
host_2b	2017/10/31	1001	OP1	— (※3)	BBB

(※1) ホストグループと作業対象ホストで項目を登録すると、作業対象ホストの項目が優先されます。従って、host_1a に登録した「222」が適用されています。

(※2) 作業対象ホストの項目が優先されますが、空の場合は上位から継承されます。host1_a の項目 2 は空だったので、親ホストグループである HG_1 の「AAA」が継承されています。

(※3) host_2a と host_2b の項目 1 は空になっていますが、これは HG_2 の項目 1 が空のためです。

(※4) 「機器一覧」メニューの管理システム項番が 10,000,000 以上のホストは、ホストグループ機能が正常に動作しません。
ホストグループ機能を使用する場合は、管理システム項番を 10,000,000 未満になるようにしてください。

4.7 オペレーションと作業対象ホストごとの項目の設定値を紐付け

「代入値自動登録設定」メニュー画面で連携対象としたメニューと項目を、Movement の変数に紐付けます。登録/更新/廃止/復活が可能です。

登録した情報は内部の処理により「代入値管理」メニュー画面と「作業対象ホスト」メニュー画面に反映されます。

詳細については、「[パラメータ管理メニューガイド](#)」を参照してください。

4.8 オペレーションに紐付く作業対象ホストの反映

オペレーションに関連付く作業対象ホストが自動で反映されます。

反映結果は「作業対象ホスト」メニュー画面で確認できます。

詳細については、「[パラメータ管理メニューガイド](#)」を参照してください。

4.9 代入値の反映

オペレーションごとに、対象の Movement で利用される Playbook やテンプレートファイル内の変数「VAR_」に代入する具体値が自動で反映されます。

ここでの具体値は「[4.5 パラメータシートメニューへの登録](#)」で入力した具体値となります。

反映結果は「代入値管理」メニュー画面で確認できます。

詳細については、「[パラメータ管理メニューガイド](#)」を参照してください。

5 運用操作

ホストグループ機能を活用する操作はクライアント PC のブラウザ画面からのユーザ利用による入力だけでなく、システム運用・保守による操作もあります。用意している運用・保守の操作は次の通りです。

- メンテナンス
- ログレベルの変更

5.1 メンテナンス

ホストグループ機能のプロセスの開始/停止/再起動に必要なファイルは以下となります。

説明	対象ファイル名
ホストグループ分解機能。 ホストグループ単位に入力されている設計情報をホスト単位に分解する。	ky_hostgroup_split.service
ループチェック機能。 ホストグループの親子関係がループ状態にあるかどうかチェックする機能です。	ky_hostgroup_check_loop.service

対象ファイルは「/usr/lib/systemd/system」に格納されています。
プロセス起動/停止/再起動の方法は次の通りです。
root 権限でコマンドを実行してください。

① プロセス起動

```
# systemctl start ky_hostgroup_split.service ↵
```

② プロセス停止

```
# systemctl stop ky_hostgroup_split.service ↵
```

③ プロセス再起動

```
# systemctl restart ky_hostgroup_split.service ↵
```

同様に、各対象ファイル名に置き換えて起動/停止/再起動を行ってください。

5.2 ログレベルの変更

① NORMAL レベルへの変更

以下のファイルの 8 行目「DEBUG」を「NORMAL」に書き換えます。

ログレベル設定ファイル: <インストールディレクトリ>/ita-root/conf/yardconf/ita_env

② DEBUG レベルへの変更

以下のファイルの 8 行目「NORMAL」を「DEBUG」に書き換えます。

ログレベル設定ファイル: <インストールディレクトリ>/ita-root/conf/yardconf/ita_env

書き換え後、プロセス再起動(restart)後に有効になります。

再起動については「5.1 メンテナンス」を参照してください。

ログファイルの出力先: <インストールディレクトリ>/ita-root/log/yardlog